

日本語活動グループ11月定例会 ～なぜ対話中心の活動なのか～



・私たちの活動目標：

- ・参加者（日本人も、外国人も）が交流できる
- ・外国人参加者が日本での生活をより快適なものにできる

1. 交流を豊かにしていくためのポイント：

- ① 話すとき
- ② 聞くとき
- ③ 発話量のバランス
- ④ 雰囲気作り

2. 対話中心の活動

* 日本語をよく使う場所はどこか？

地域の日本語教室

→ 学習者にどうやってより多くの日本語を話してもらうか

* 言葉は使うことによって身につく

第二言語習得の流れ

インプット (Input)

1. 気づき (Noticed Input)
2. 理解 (Comprehended Input)
3. 内在化 (Intake)
4. 統合 (Integration)

アウトプット (Output) → 長期記憶 (定着する)
使える言葉 (運用言語)


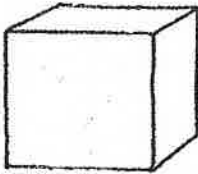

*活動で大切なことは

- ・本当に話したいことを話す
- ・生活にとって意味のあることを伝えあう

3. 今日の活動

- ・トピック： 買い物
- ・準備するもの： レシート、写真、ワークシート

ワークシート

<table border="1"><tr><td colspan="4">12</td></tr><tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr><tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td></tr><tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr><tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td></tr></table>	12					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
12																																								
	1	2	3	4																																				
5	6	7	8	9	10	11																																		
12	13	14	15	16	17	18																																		
19	20	21	22	23	24	25																																		
26	27	28	29	30	31																																			

「やさしい日本語」にするための12の規則



1	難しいことばを避け、簡単な語を使ってください
2	1文を短くして文の構造を簡単にします。文は分ち書きにしてことばのまとまりを認識しやすくしてください
3	災害時によく使われることば、知っておいた方がよいと思われることばはそのまま使ってください
4	カタカナ・外来語はなるべく使わないでください
5	ローマ字は使わないでください
6	擬態語や擬音語は使わないでください
7	使用する漢字や、漢字の使用量に注意してください。すべての漢字にルビ(ふりがな)を振ってください
8	時間や年月日を外国人にも伝わる表記にしてください
9	動詞を名詞化したものはわかりにくいので、できるだけ動詞文にしてください
10	あいまいな表現は避けてください
11	二重否定の表現は避けてください
12	文末表現はなるべく統一するようにしてください

(引用 : <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ9tsukurikata.ujie.htm>

弘前大学人文学部社会言語学研究室ホームページ内)